

令和4年度 第2回 都田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月15日(水) 13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 富田三枝子、小林宗吉、山下英治、波多野千津子、森上茂美、鈴木智江、鈴木崇司、桐生大輔
- 4 欠席委員 木宮敬信、影山善久
- 5 学 校 伊藤美香(校長)、井島健蔵(教頭)、鈴木敬子(CSディレクター)
- 6 教育委員会 堀田洋一(教育総務課)
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
  - (1) 現在の取り組みに対する感想と今後の取り組みへの意見について
  - (2) 第3回の日時と議長選出について
- 9 会議録作成者 鈴木敬子(CSディレクター)
- 10 会議記録

森上議長から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 現在の取り組みに対する感想と今後の取り組みへの意見について

3年1組「算数」の研究授業参観および教員の事後研修会の参加後に委員からは以下の発言があった。

- ・子供たちが授業に集中しているのがすばらしい。自分の考え方を発表し、人の考え方を聞く時間があったのはよかった。授業の最後に先生の体験の話から次のステップへの興味を引かせているのがプロだと思った。(崇司委員)
- ・子供たちの中に姿勢と鉛筆の持ち方が悪い子が一人いたが、それは親の責任だと思う。書くときには必ず自分の中心を捉えなくてはいけない。それ

は、人間の根幹であり、芯がないということで、中心があるから右にも左にも行ける。体の仕組みが発達的な運動不足のため、真ん中ができていない。そして親指と他の指を挟んで動かす、つまむという機能が少なくなっている。発達は子供の置かれている環境がとても影響している。それを子供のせいにはできない。大人と地域と子供、家族のつながりがダイレクトに影響する。子供の学びは環境によって影響すると改めて感じた。その中で、学校の先生方がすごく一生懸命に子供たちに必要な学習というものを、こんなに考えてくださっていて、毎回毎回これからも6時間あるわけだから、恐ろしくなるほど。本当に地域が先生方を支えていくことが必要だと感じた。(桐生委員)

- ・12分の11時間だから充実した場面だった。先生と子供たちのつながりがよく、15人だから先生が一人一人の状態をよく分かっている、どこでどうすればよいか分かっていた。よい環境で学習できているとつくづく感じた。

学び方の資料「まなBook」はとてもよい。子供たちが進んで学習をしない、自分から進んで何かをしないことがマイナス面。これを補うために「まなBook」を使い、子供たちが変わるように、家庭も地域もどうやって協力して関わっていけるかが大事。

キャリア教育というものは今までの授業と変わらないと思っていたが、変えなければいけない、変わるのだと桐生さんの話の中で気づかされた。やはり、先生の最後の言葉や最初の導入の言葉、子供同士の話し合いの声のかけ方、それらすべてが今までと変わっていかなくてはならないとひしひしと感じた。(智江委員)

- ・グランドデザインのキャリア教育との関連では、考える力を身につける授業であった。子供たちに考えて答えを出させる現場を見せつけられた。先生が最初と最後に大事なことは、10のまとまりで考えることだと結びつけ、子供たちが分かりやすかったのではないかと思う。先生の事後研修会に初めて出たが、先生のひとつひとつの事柄、言葉に対してひとつひとつ意味があることと、先生が一所懸命がんばっているのだと感じた。(富田委員)
- ・子供たちはこれから段々デジタル化の中に入って行く。パソコンやスマートフォンなど楽なことやボタン一つで終わってしまう。先ほどの授業でも計算に限らず、ただこうなります、なぜこうなるのかをあの年から教えていけば、物事の探究心や研究心が身について行く。今日やった計算もこれから買い物に行ったときでも役に立つと思う。(山下委員)
- ・今までの参観と違い、1時間じっくりと見た。子供たちのノートをよく見ると、それぞれ捉え方が違う。あまりにも違ったので、驚きというか新鮮であった。先生は指導をするときに、個々の子供が違うのでそれを一定の

所まで持って行くのを、ノートを見ながら考えているということが、よくわかった。

自分は豊岡小と初生小の子供たちの登下校の様子をいつも見ているが、都田小の子供は切磋琢磨という部分が少なく、一人一人がのんびりしていると感じる。でも小規模校の良さもある。その中で、先生は都田の子供らしく育てようと考えていることがよくわかった。(波多野委員)

- ・担任の先生が明るくはつらつとしていて、はっきりとした言葉で子供たちを引っ張っていた。言葉がはっきりしているので、子供たちが何の勉強をこれからしていくか分かる。担任の先生の態度や姿勢から3年1組はのびのびとして先生とのつながりもよく、すてきなクラスだと思う。

教育機器をうまく有効的に使っている。(子供のノートをタブレットで写真に撮り大型テレビ画面に出す) ノートを皆の前で見て、皆で考えていた。これからも有効に使ってほしい。

若い先生とベテランの先生がいろいろなことを言い合うことで、若い先生が育っていく。ベテランの先生がやってきたことや考えを聞くことで、若い先生がたくさん学んでいく。事後研修会は大事。(森上委員)

- ・保護者に今何がどう必要か、だからどう勉強しているか、家庭学習がなぜ必要か、どうやらせていくのが必要かを最初に理解してもらうことが大切。「まなBook」は、ただ資料として分けるだけではなく、こんなにすてきなものなので、常にバイブルとして自分の手元で利用してほしい。(智江委員)

## (2) 第3回の日時と議長の選出について

議長から次回12月13日(火)の議長選出について委員に意見を求めたところ、鈴木崇司委員が推挙され、全員異議なくこれを承認した。